

学会第2回研究倫理審査委員会報告

日 時 令和5年9月6日（水） メール会議
出席者 <委員長> 林 美加子
<委 員> 飯島毅彦、川口陽子、新谷誠康、
中島ひかる、横山敏秀
<役 員> 都留寛治

第1回委員会（令和5年8月31日開催）にて協議した「病院における医科・歯科連携に関する調査（令和5年度）」（研究概要は以下のとおり）の本委員会意見を踏まえた修正申請書に対する協議をメール会議として行った。

<研究概要>

研究課題名：「病院における医科・歯科連携に関する調査（令和5年度）」

主たる研究実施機関：公益社団法人日本歯科医師会

実施責任者：公益社団法人日本歯科医師会

日本歯科総合研究機構 主任研究員 恒石美登里

協議の結果、各委員から披瀝された意見を、以下のとおり本委員会意見として取り纏め、9月6日付けで改めて申請者に回答した。

（委員会 意見）

○申請書P.2の「6. インフォームドコンセントを受ける手続き等（取得方法、書類の保管場所と方法）」

⇒「調査票原本は会議のかかる棚等で保管する」を「鍵のかかる棚」とする。

○調査票冒頭の枠内の「※データを公表する際に施設名や記入者名が特定されることはございません。」

⇒申請書と同様に調査票にも以下の赤字部分を加筆する。

「※回答内容は電子化し、施設名等をID化することにより、連結ができない状況で分析等を行います。データは統計学的に処理されますので、公表する際に施設名や記入者名が特定されることはございません。」

その後、9月11日（月）、同申請者より、本委員会意見を踏まえた再修正申請書の提出がなされたため、翌日（9月12日）、各委員に文面の確認依頼を行った結果、全委員より、再修正申請書を了承する旨回答がなされたため、委員会として本申請書の文面を確定した。

この結果を受けて、9月13日（水）、申請者に再修正申請書を「了」とする結果通知を行った。

以上